

日本発ドイツ便り : Frohe Weihnachten!

今日から第3アドヴェント¹。アドヴェント期間中はどこの街にも大きな広場にクリスマス市がでます。(言い方を変えれば、どこの街にも中心がちゃんとあるってことですね) クリスマス市にはたくさんのお店が出ます。売っているものはクリスマス用のお菓子・クリスマスの飾り・クリスマスプレゼント関係、クリスマス用の食材、年中通しての屋台の定番、焼きソーセージ。冬の定番焼き栗、そしてクリスマス市にはグリュウワイン。

ドイツのクリスマスの匂いはシナモンとワイン、そして炒ったアーモンドの香ばしい匂いと甘い砂糖の香り。でしょうか。(この時期になると毎年「帰りたい…」になりますね。)

日本でもクリスマスのイルミネーションが個人宅・商業施設・大きな通りにいたるまどこもかしこもキラキラですが、ドイツのクリスマス、イルミネーションという意味では少々地味です。

ひとつは電飾の色が基本、ろうそくの明かりだからかもしれません。(伝統的なツリーには本物のろうそくを飾るんですよ。最近は経費や環境問題への配慮からLEDも増えているようですが...)

あと、ドイツではWeihnachtsbaum (ヴァイナハツバウム: クリスマスツリー) には生の Tannenbaum (タンネンバウム: もみの木) を使うので、ツリーの飾り付けは24日。(あんまり早く買って早く飾りつけてしまうと、乾燥して葉っぱがぱらぱら落ちてきてしまいます。)



¹ アドヴェント (11月30日に最も近い日曜日 (11月27日 - 12月3日の間の日曜日) からクリスマスイブまでの約四週間のこと)

ツリーの下にはクリップという名前の、キリストの誕生を再現した人形が置かれます。(こういうものもクリスマス市で売っています。) ↓こんな感じです。(家庭用はもっと小さいですよ。☺) あと、クリスマスプレゼントは「○○へ」とカードをつけて、ツリーの下に置きます。



伝統的なクリスマスの飾り。木でできたものが多いです。ろうそくを灯すものが多いかな。あとほくろみ割り人形もクリスマスの飾りです。(バレエの「くるみ割り人形」の舞台はドイツのニュルンベルクですよ～)

ドイツと日本のクリスマスの違いは...

	ドイツ	日本
期 間	1か月前のアドヴェントから1月6日まで(12月25・26日は祝日)	クリスマスイブとクリスマス(クリスマスは平日)
過 ぎ し 方	基本的には家族だけで過ごす。お店はどこも休み	友達や恋人と過ごすことが多い(もしくは平日なので、普通に仕事)。お店はどこも開いている。
お 菓 子	アドヴェントの間中食べられる焼き菓子(クッキーやシュトーレン、レープクーヘンなど)	クリスマスケーキ(生ケーキ)
食 べ 物	肉料理。でも基本チキンは食べない(ドイツではなんと、チキンは肉のうちに入らないのです! ²)	チキンとケーキ(?)

相当簡単に・強引にまとめるとこんな感じでしょうか?

もう何度も書いていような気もしますが、「本場のクリスマスを体験したい!」と思うならクリスマス市で雰囲気味わってみるか、「家族」として扱ってくれる人を探すか。あとは24日・25日は旅行者としてドイツにいるのはあまりにも寂しいです。あんなに明るかったクリスマス市の明かりが消え、街の明かりも消え、レストランも開いてない...。ので、本当に避けることをお勧めします。

題名の Frohe Weihnachten(フロエ・ヴァイナハテン)はドイツ語で Merry Christmas の意味です。クリスマスも近付くと、お店でお買い物ものをして帰るときとか、意外なところで、かなり頻繁にこの言葉を聞きますよ。もしこの時期ドイツにいたことがあればぜひ使ってみてください!

こんなこと言っている私もホントのクリスマスをドイツの家庭で過ごしたのは1回だけですから、まだまだ謎は多いのですが...

ただ、今年は数年ぶりに Weihnachtsmarkt(ヴァイナハツマルクト:クリスマス市)は体験できそうです。☺

そんなこんなで、今回はクリスマス市レポートお楽しみに!!

日本的にはちょっと早いですが...

Frohe Weihnachten!!



² この辺の説明はまたそのうちに。